

伝統を守り、日光の「食」
を発信する職人たち



日光老舗名店会

さいとういっけい
会長：齋藤一敬さん

日光老舗名店会は、日光東西門前町に所在し、日光独自の食文化に関する業態を3世代以上営む老舗、またはこれに準じ、名店として広く認知されている店舗・企業で組織しています。平成17年に結成し、それぞれが生粹の日光の味を守り、門前町全体を盛り上げています。現在は、ふじやをはじめ、石田屋、恵比寿家、柏崎商店、金谷ホタルベーカリー、鬼平の羊羹本舗、高井家、ひしや、ますだや、三ツ山羊羹本舗、明治の館、湯沢屋、吉田屋羊羹本舗、与多呂、綿半の計17店が加盟しています。

●どんな活動をして
いますか？

会の主な活動は、日光伝統の「食」を知つてもらう広報活

動で、デパートの催事をはじめ、イベント時の出店や協力の他、誘客のためのさまざまな活動も行っています。

今月は、平成27年度に食分野で「特選日光ブランド」に認定された日光老舗名店会を紹介します。お話を、日光湯波ふじや店主で同会の会長齋藤一敬さんに伺いました。

●日光老舗名店会とは？

日光老舗名店会は、日光東西門前町に所在し、日光独自の食文化に関する業態を3世代以上営む老

舗、またはこれに準じ、名店として広く認知されている店舗・企業で組織しています。平成17年に結成し、それぞれが生粹の日光の味を守り、門前町全体を盛り上げてあります。現在は、ふじやをはじめ、石田屋、恵比寿家、柏崎商店、金谷ホタルベーカリー、鬼平の羊羹本舗、高井家、ひしや、ますだや、三ツ山羊羹本舗、明治の館、湯沢屋、吉田屋羊羹本舗、与多呂、綿半の計17店が加盟しています。

●「特選日光ブランド」に認定されましたが、今後の抱負は？

今まで、旧日光地域の狭い範囲の振興を考えていましたが、これからは広域に目を向けていかなければ淘汰されてしまいます。

活気のある店舗がその地区を盛り上げると、刺激を受けて元気な店舗が増えてくる。数が増えるとさらに地区が盛り上がりしていく。そして地区同士が切磋琢磨し成熟していく。やがてその地区がまとまり地域へと大きくなつていけば、観光都市日光がもつと盛り上がっていくと思います。合併して大きな市になつたからこそ、お互いが高め合い、力を合わせていくことが大切なのではないのでしょうか。私たちの会も、伝統を守り続け、地域全体で成長していきたいと思います。

☆インタビューを終えて…

インタビュー中、熱く語る齋藤さんは、実直に商売と向き合う厳しい職人のイメージでしたが、「世界遺産におんぶに抱っこでは、何も変わらない。日光地域では、名店会だけでなく、「桜遊会」や

紹介したい人、サークルを募集しています

「輝き人」では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたが、ぜひお寄せください。※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合は、紹介をお断りすることがあります。

連絡先およびくわしくは
秘書広報課 広報広聴係

☎(21)5135



昨年開催された「日光社参ウォーグール」の日光総合会館で、おもてなしを行ったイベントを盛り上げました。